

第 1 回議会向上会議 協議概要

- 1 日 時 平成 29 年 12 月 1 日（金）
午後 4 時 15 分から午後 5 時 34 分まで
- 2 会 場 議会棟 3 階 第 1 委員会室
- 3 出席者 （委 員）小松崎委員長、村尾副委員長、
麻生委員、阿部委員、岩井委員、植草委員、小川委員、
近藤委員、白鳥委員、中村委員、福永委員、森山委員、
山本委員
（オブザーバー）渡辺議員
（事務局）鎌田事務局長 他 9 人
- 4 傍聴者 （議 員）伊藤議員
（一般傍聴者）3 人
（報道関係）なし
- 5 協議事項及び協議結果
 - （1）委員席の指定について
委員長が委員席を指定し、了承された。
 - （2）議会向上会議の運営について
要綱に基づき会議を運営し、協議を進めていくこととされ、正副委員長から提示した協議・検討項目と、そのスケジュールが了承された。本年度は、まず「議会の ICT 化」から協議・検討を進めていくこととした。
＜主な意見等＞
向上会議の成果をどのような方法で市民に報告するのかと質問があり、委員長が「市議会だより」による報告を想定している旨の説明をした。
 - （3）議会の ICT 化について
事務局から、タブレット型端末を活用した文書共有システムに関し、これまでの検討経緯、タブレットの活用範囲と検討すべき課題、他市の導入事例等を説明した。
また、事前に各会派に調査したタブレットの活用範囲に関する調査の結果を提示した。
＜主な意見等＞
 - ・ 完全にペーパーレスになってしまうのか。試行的にやっていくのはどうか。

- ・ 災害時の連絡用に使用できることが望ましい。
- ・ 本議会として何をしようとしているのか、目的を明確にするべきだ。費用の全額を公費で負担とすることは難しいのではないか。全額公費負担にするならば、議会活動に限るなど活用範囲に相当制限をかける必要がある。
- ・ まずは導入してみて、走りながら（活用していきながら）考えていくのはどうか。議員間のデジタルデバイド（情報通信技術格差）を解消する必要もある。
- ・ いち早く、スピーディーに議員と事務局双方で情報共有ができるのではないか。
- ・ ICT化についていけない議員もいるので、全議員が同じ機械を持つこととして、段階的に進めてほしい。
- ・ 会議で使用する理由は何か。資料をすべてデジタル化するのは難しいのではないか。サブで使用するのであれば、わからなくはないが。
- ・ 全てがタブレットで、できるようになるわけではない。
- ・ 文書共有システムを導入することが、了承されていることを改めてこの会議で確認したい。

意見交換後、次回、正副委員長から本日出された意見等を踏まえ整理した見解を提示することとなった。

（４）次回の開催日程について

次回は、平成 29 年 12 月 7 日（木）の本会議散会后（なお、散会后に災害対応訓練を 30 分程度実施する予定）に開催することとした。